お肌の話 Vol.42

腰回りにブツブツができ、かゆみが長く続いています

慢性痒疹（ようしん）の一種かもしれません

中野皮膚科クリニック
http://www.nakano-derma.com/

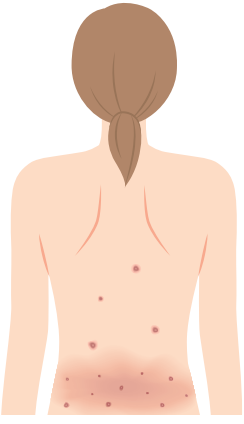
かゆみが続く皮疹を生じる痒疹（ようしん）について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きました。

―どんな病気ですか？

「痒疹にはいろいろな種類があります。子どもに多いのが急性痒疹。虫さされ後の過敏反応で、かゆみが続きブツブツした丘疹ができます。亜急性痒疹は大人に多く、腕や足に丘疹ができ、かゆみが数カ月続きます。中高年に多いのが腰回りや太ももにできる慢性多形性痒疹です。湿疹様変化と丘疹が混在して、かゆみも長く続きます。同じ慢性でも結節性痒疹は、虫刺されや湿疹が生じた後に、一部が隆起してくるのが特徴です。いずれの痒疹もかゆみが強く、紅色や褐色の丘疹を伴います。原因はよくわかっていませんが、できやすい体質はあるようです。市販のかゆみ止めなどを塗ってもなかなか治らない、かゆみが続くときは皮膚科を受診しましょう」

―治療法は？

「治療は、抗アレルギー剤やステロイド外用薬を処方します。かき壊すと二次感染を起こし〝とびひ〟になったり、色素沈着してあとが残ったりします。テープで貼るタイプのステロイド外用薬は持続的に浸透し、かき壊し予防にもなります。このほかにも症状に応じて免疫抑制剤を内服する治療方法もあります。時間はかかりますが、根気よく治療することが大切です」



中高年に多い慢性多形性痒疹は、ベルトをするあたりが赤茶色になり、かゆみとともに皮疹ができる。背中や太ももにできることも

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ～ 13:00	○	○	○	○	○	12:00 まで受付
15:00 ～ 18:30	○	○	○	○	○	―

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬　日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

問い合わせ
中野皮膚科クリニック
中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分
☎03-5342-0722

2018年2月10日付　「リビング東京副都心」に掲載されました